

第8回

スヌーズレン研修会



基調講演

「スヌーズレンの基本的理解と専門資格の必要性について」

姉崎 弘

常葉大学教授
ISNA 日本スヌーズレン総合研究所所長
国際スヌーズレン専門支援士

理論・実践研究報告

嶺 也守寛

東洋大学准教授

「産学連携によるスヌーズレン器材の開発
～移動式スヌーズレン器材（機関車スヌーズレン・消防車スヌーズレン）～」

遠藤 浩之

常葉大学准教授

「スヌーズレンとリハビリテーション(ICFモデル)」

川合 由美

浜松市発達医療総合福祉センター・
ふれんず施設長

「重症心身障害者通所施設におけるスヌーズレンの実践方法」

小玉美津子

神奈川県立座間養護学校教諭

「スヌーズレンルーム活用の一考察 ～児童生徒記録表の変化より～」

実技指導

姉崎 弘

常葉大学教授

スヌーズレン器材の使い方と対象者への接し方

交換会報

遠藤 浩之

常葉大学准教授

◆各グループに分かれて情報交換

◆グループごとの発表と指導助言

スヌーズレン器材の紹介

マインドテクノ株式会社、三笠産業株式会社、
株式会社ピーエーエス

開催日

2019年5月26日(日)
10:00～17:00(受付9:30～)

会場

東洋大学 ライフデザイン学部
朝霞キャンパス 情報棟105室
埼玉県朝霞市岡48-1

スケジュール

9:30～10:00 受付
10:00～10:10 開会行事
10:10～11:10 基調講演(姉崎先生)
11:10～12:10 理論・実践研究報告(嶺先生、遠藤先生)
12:10～13:00 休憩
13:00～14:00 理論・実践研究報告(川合先生、小玉先生)
14:00～15:10 実技指導(姉崎先生)
各出展企業によるスヌーズレン器材の説明
15:10～16:20 グループ別情報交換会
16:20～16:40 研修会全体での質疑応答
16:40～ まとめ・閉会の挨拶

参加費

一般:8,000円、(サポート研究員:6,000円)
大学院生:2,000円、学部生:無料
※当日入会でサポート研究員になれます。様々な特典があります。
※東洋大学関係者:無料(大学院生・学部生を含む)

会員の方は4月に送付される「スヌーズレンの理論と実践方法」のテキストを必ずご持参ください。
一般でのご参加の方は「スヌーズレンの理論と実践方法」のテキストを当日必ずご購入ください。

申し込み方法

研修会お申込みフォーム (<https://bookway.jp/snoezelen>)、
もしくは裏面のFAX 申込書よりお申込みください。
当日会場にて参加費をお支払いください。

書籍販売

「スヌーズレンの基礎理論と実際
一心を癒す多重感覚環境の世界—(第2版)復刻版」 価格 3,200円 (サポート研究員価格 2,900円)
(学術研究出版/ブックウェイ) (2015年8月20日発行)

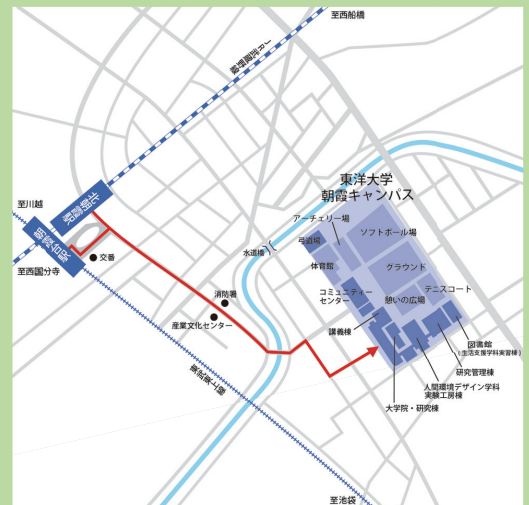
「重度知的障がい者のこちよ時間と空間を創る
スヌーズレンの世界」 価格 3,700円 (サポート研究員価格 3,400円)
(福村出版) (2015年7月25日発行)

「スヌーズレンの理論と実践方法」 価格 2,800円 (サポート研究員価格 2,500円)
(大学教育出版) (2019年3月発行)

機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第1号、第2号」 価格 各2,500円
(2017年1月25日発行)

スヌーズレンとは:
1970年代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動やリラクゼーションの一手法として始められた活動です。スヌーズレンの語源はオランダ語の「フンクン匂いをかぐ」と「ウトウト居眠りをする」の合成語からなり、今日では、世界中の福祉施設や学校、病院、個人宅などでさまざまな障がい者や病気のいる人々などを対象としたレクリエーションや教育・セラピーの方法として広く活用されています。

定員 70名
(先着順)



会場: 東洋大学朝霞キャンパス 情報棟
埼玉県朝霞市岡48-1
東武東上線「朝霞台」駅または、
JR武蔵野線「北朝霞」駅下車、徒歩10分

研修会に関するお問い合わせは・・・ E-mail: info@bookway.jp

主催: ISNA日本スヌーズレン総合研究所
共催: 東洋大学人間環境デザイン学科、東洋大学工業技術研究所、学術研究出版/ブックウェイ
後援: マインドテクノ株式会社、三笠産業株式会社、株式会社ピーエーエス

第8回 スヌーズレン研修会

テーマ

「わが国におけるスヌーズレンの資格制度化に向けて」

2019年度5月のスヌーズレン研修会は、東洋大学朝霞キャンパスで実施いたします。東武東上線とJR武蔵野線が交差する位置にあり、都心から30分前後で到着できる比較的利便性の高い場所にキャンパスがあります。今回のプログラムでは、基調講演を始め、理論・実践事例の講義、姉崎先生による実技指導、スヌーズレン器材を扱う企業3社による器材紹介や使い方の説明、現場の声が聞ける参加者によるグループ別情報交換会など、他では受講することが

できない充実した内容としています。特に今回は、研修会のテーマにも挙げました通り、スヌーズレンの資格制度化に向けて進めているところで、3月に発刊したスヌーズレンの教本をベースに講座カリキュラムの検討をしており、そのご紹介も姉崎先生よりさせていただく予定です。これから施設内でスヌーズレンを始めたい方、現在スヌーズレンを実践している中で知識をブラッシュアップしたい方など、多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

略歴

あね ざき ひろし
姉 崎 弘

筑波大学大学院教育研究科障害児教育専攻修了。
静岡県公立養護学校教諭（13年間）、
三重大学教授を経て、現在常葉大学教育学部教授。
現在、ISNA日本スヌーズレン総合研究所所長。
元国際スヌーズレン協会（ISNA）International
Board、ISNA日本支部・全日本スヌーズレン研究
会初代会長。国際スヌーズレン専門支援士。

※現在月1回程度、全国の特別支援学校や小・中学校
などでスヌーズレンの講演と指導助言を精力的に
行っている。

- 1993年 肢体不自由養護学校勤務時代に、授業の中で「光と音楽」のファンタジーの世界を創出してスヌーズレンの授業を行う。
- 2003年 第2回国際スヌーズレンシンポジウム（オランダ）で研究発表。
- 2003～2006年 三重県津市療育センターでスヌーズレンの療育実践を行う。
- 2008年 ベルリン・フンボルト大学リハビリテーション学部在外研究員。
（クリスタ・マーテンス博士の元でスヌーズレンの研究に従事）
- 2009年 スヌーズレンの研究の必要を痛感し、全日本スヌーズレン研究会を設立。
マーテンス博士の著書『スヌーズレンの基礎理論と実際』（大学教育出版）の翻訳出版。
- 2014年 国際スヌーズレン専門支援士（国際スヌーズレン追加資格）取得。
- 2015年 日本スヌーズレン総合研究所を設立。
創始者たちの著書『重度知的障がい者のここちよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界』（福村出版）の翻訳出版。
- 2016年 ISNA日本スヌーズレン総合研究所に改称。
マーテンス博士より同研究所が「ISNA JAPAN」（イсна・ヤーパン）として正式に認定される。
- 2017年 1月に機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第1号」を創刊。
2012年より日本特殊教育学会等でスヌーズレンのシンポジウムを毎年開催。

お申し込みは
HPまたはFAXで

<https://bookway.jp/snoezelen>

FAX 079-244-1482 (小野高速印刷株式会社 出版事業部)

参加申込書 (FAX)

勤務先		職名	
ご氏名		TEL	
E-mail アドレス	※ご連絡を差し上げる場合のE-mailアドレスをご記入ください。	FAX	
ご住所	〒 (-)		
同行者 ご氏名			

※ご記入いただいた個人情報につきましては、主催者の規定により次のとおり適切な安全管理措置を講じます。

1.本研修会の実施にあたって使用し、それ以外の目的には使用いたしません。2.主催者以外の第三者への提供は行いません。

主催：ISNA日本スヌーズレン総合研究所

共催：東洋大学人間環境デザイン学科、東洋大学工業技術研究所、学術研究出版/ブックウェイ

後援：マインドテクノ株式会社、三笠産業株式会社、株式会社ピーエーエス